

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F128310108883	設置等組織名	武庫川女子大学 環境共生学部（環境共生学科）
大学名	武庫川女子大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	兵庫県	事業計画名	武庫川女子大学 学部の新設

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1	①令和5年9月～10月 移転調査・計画 ②令和5年9月～11月 既存施設改修・新築基本設計（事前調査・開発協議・基本設計） ③令和5年9月 進学推奨意向確認のため高校生保護者向けにインターネットを利用したアンケート調査 ④令和5年9月 新学部構想の評価と進学推奨意向確認のため高等学校等関係者を対象にしたヒアリング 調査 ⑤令和6年10月 上記調査の分析・検討 ⑥令和5年10月 届出設置の可否について運営委員会に事前相談 ⑦令和5年11月 同系統学部の施設等運営状況や、連携校・連携企業開拓のため他大学・企業を訪問調査 ⑧令和5年12月 学生確保の見通しを明らかにするため近隣高校、大学附属高校及び連携高校の 高校2年生向けの進学意向アンケート調査	1-①令和5年9月～10月 移転調査・計画 1-②令和5年9月～11月 既存施設改修・新築基本設計（事前調査・開発協議・基本設計） 1-③令和5年9月 進学推奨意向確認のため高校生保護者向けにインターネットを利用したアンケート調査 1-④令和5年9月 新学部構想の評価と進学推奨意向確認のため高等学校等関係者を対象にしたヒアリング 調査 1-⑤令和5年10月 上記調査の分析・検討 1-⑥令和5年10月 届出設置の可否について運営委員会に事前相談 1-⑦令和5年11月 同系統学部の施設等運営状況や、連携校・連携企業開拓のため他大学・企業を訪問調査 1-⑧令和5年12月 学生確保の見通しを明らかにするため近隣高校、大学附属高校及び連携高校の 高校2年生向けの進学意向アンケート調査 1-⑨令和6年1月 新学部の設置構想についてPR活動開始 1-⑩令和6年3月 大学収容定員関係学部別変更認可申請	R5年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
			R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
フェーズ2 前倒し	特になし	2-①令和5年7月～令和6年5月 既存施設改修・新棟新築実施設計（開発・設計・積算外） 2-②令和6年1月～3月 研究管理棟（既存棟整備） ※実習棟、図書館棟改修（既存棟整備）はR6年度事業へ繰り越し 2-③令和6年1月～令和6年3月 講義棟改修（既存棟建築・設備改修） 2-④令和6年3月～ 既存棟移転（教育管理・実習・図書・講義棟） ※一部の移転事業はR6年度事業へ繰り越し、令和6年7月完了予定	R5年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 移転調査ならびに既存棟の改修仕様の決定ならびに建築資材の調達に時間を要したため、一部事業の遅延が生じた。 現時点において、事業遅延要因に対する対応は完了しているので、新学部開設までには、当初予定の事業を完了する予定である。
認可申請 又は届出	・令和6年3月 大学収容定員関係学部別変更認可申請 ・令和6年4月 新学部設置届出	・令和6年3月 収容定員の総数の増加 認可申請		
フェーズ1 後倒し	設置計画立案のためのアドバイザーによる助言、検討体制は令和7年4月の新学部開設の直前まで、継続して実施する予定		R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
フェーズ2	①令和5年9月～11月 既存施設改修・新棟新築実施設計（開発・設計・積算外） ②令和5年12月～令和6年5月 研究管理棟、実習棟、図書館棟改修（既存棟整備） ③令和5年11月～令和6年3月 講義棟改修（既存棟建築・設備改修） ④令和6年1月～3月 既存棟移転（教育管理・実習・図書・講義棟） ⑤令和6年7月～令和7年1月 既存改修・新棟新築工事監理（既存棟・新棟） ⑥令和6年7月～9月 教育研究棟改修（新学部対応既存改修） ⑦令和6年7月～令和7年1月 プロジェクト棟新築（新棟） ⑧令和7年1月～3月 教育研究棟移転 ⑨令和7年2月～3月 什器備品搬入、移転	2-①令和5年9月～11月 既存施設改修・新棟新築実施設計（開発・設計・積算外） 2-②令和5年12月～令和6年5月 研究管理棟、実習棟、図書館棟改修（既存棟整備） 2-③令和5年11月～令和6年3月 講義棟改修（既存棟建築・設備改修） 2-④令和6年1月～3月 既存棟移転（教育管理・実習・図書・講義棟） 2-⑤令和6年7月～令和7年1月 既存改修・新棟新築工事監理（既存棟・新棟） 2-⑥令和6年7月～9月 教育研究棟改修（新学部対応既存改修） 2-⑦令和6年7月～令和7年1月 プロジェクト棟新築（新棟） 『一部については、フェーズ2後倒しの取組として実施』（R7.3.31承認） 2-⑧令和7年1月～3月 教育研究棟移転 2-⑨令和7年2月～3月 什器備品搬入、移転 『一部については、フェーズ2後倒しの取組として実施』（R7.3.31承認）	R6年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 プロジェクト棟（新築）について、工期延長が必要となったため、計画変更承認申請を行い、R7.3.31付で承認を得た。
開設 又は定員増	令和7年4月 開設	令和7年4月 環境共生学部環境共生学科（入学定員120人、工学関係）		
フェーズ2 後倒し	特になし	2-⑦令和6年10月～令和7年8月 プロジェクト棟新築（新棟）（R7.3.31承認） 2-⑨令和7年2月～8月 什器備品搬入、移転（R7.3.31承認）	○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3	①令和7年8月～令和8年3月 新学部実験装置 段階的整備		○年度自己評価	リストから選択してください。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は 学部等の廃止	特になし	令和7年5月（環境共生学部環境共生学科 40人減員に係る届出（入学定員80人、工学関係）		

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	武庫川女子大学
-------------	-------	-----	---------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和5年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>確認の対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	確認の対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
確認の対象に該当しない	☐ チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	武庫川女子大学
-------------	-------	-----	---------

⑫

計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

計画通りに進んでいる

■

チェック

⑬

選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した

■

チェック

⑭

文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

認定を受けておらず申請する意向もない

■

チェック

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック
- a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック
- b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☐

チェック
- c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
東レエンジニアリング株式会社や日本盛株式会社、株式会社グッドホールディングス等の企業より技術者数名を講師として招聘し、実践型の科目を開講する予定。また、地元自治体や企業と連携し、 ①自然環境の持続的な利活用技術提案のための保全、管理システムの構築やデザイン ②環境資源の応用、資源循環の開発 ③生物多様性の維持、継承のための計画、設計、技術の理解と実践 をメインテーマにしたPBL型の授業科目を複数開講する。 他大学との連携については、工学部や理学部を設置している奈良女子大学と連携した科目を開講する計画である。	当初の予定どおり、左記記載の企業、地元自治体と精力的に協議を重ね、以下の科目の実施内容の充実を図った。 ・フィールド・環境施設実習 ・社会連携プロジェクトⅠ ・社会連携プロジェクトⅡ また、株式会社モンベルと包括連携協定を令和６年１月に締結し、以下の科目の実施内容の充実を図った。 ・エコツーリズム実習 他大学との連携については、奈良女子大学と包括連携協定を令和６年３月に締結。	他大学（奈良女子大学）との連携については、令和６年度において、具体的連携内容の協議を進める。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☐

チェック
- a. 入学者選抜における科目の見直し
- ☐

チェック
- b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック

c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）

☐

チェック

d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）

☐

チェック

e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学では、理系分野を目指す女子中高生を対象とした「ひょうこ理系女子未来塾」（女子中高生の理系進路選択支援プログラム選定事業）を実施し、近隣の中学校・高等学校での出前授業等を通じ、女子生徒が科学への興味・関心を高め、理系のキャリアを描けるよう支援している。今後もその活動を継続するし、女子中高生の理系分野選択を支援する。 また、現在、近畿圏をはじめとする7校の中学校・高等学校との教育研究連携に関する協定を締結しているが、フェーズ１期間中に連携先を10校に拡大予定。 出前授業の実施や生徒、学生及び教員の人材交流、教員間の相互FD、教育プログラムの共同開発、本学への進学について支援・連携する。 フェーズ３の新学部開設後はさらに連携を強化し、生徒の実験・実習授業への参加などを推進し、女子生徒の探究心を養う。学生のプロジェクトにおいても近隣の中学校・高等学校を対象としたものを実施する計画である。	令和５年6月30日に左記のひょうこ理系女子未来塾の名称を「MUKOJO ミライ☆ラボ」に変更しました。 令和５年度の活動は次のとおり。 ・西宮市内の３中学校で5回の出前授業の実施 ・地域イベント、春のオープンキャンパス等で３回の親子で楽しめるワークショップの開催 ・連携先（提携校）の拡大については、当初予定を上回る13校となった。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	武庫川女子大学
-------------	-------	-----	---------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>確認の対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	確認の対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
確認の対象に該当しない	☐ チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	武庫川女子大学
-------------	-------	-----	---------

⑫

計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

計画通りに進んでいる

■

チェック

⑬

選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した

■

チェック

⑭

文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

認定を受けておらず申請する意向もない

■

チェック

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック

a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック

b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☐

チェック

c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
東レエンジニアリング株式会社や日本盛株式会社、株式会社グッドホールディングス等の企業より技術者数名を講師として招聘し、実践型の科目を開講する予定。また、地元自治体や企業と連携し、 ①自然環境の持続的な利活用技術提案のための保全、管理システムの構築やデザイン ②環境資源の応用、資源循環の開発 ③生物多様性の維持、継承のための計画、設計、技術の理解と実践 をメインテーマにしたPBL型の授業科目を複数開講する。 他大学との連携については、工学部や理学部を設置している奈良女子大学と連携した科目を開講する計画である。	令和５年度の活動を踏まえ、令和６年度は地元自治体（西宮市環境局）と連携協議を実施 他大学との連携については、奈良女子大学と包括連携協定を令和６年３月に締結後、本学側が設置・認可の手続きならびに学生募集活動に忙殺され、強化会議（令和７年２月19日）にて、事例発表を拝聴できたが共同連携における実質的な話は進捗しなかった。	他大学（奈良女子大学）との連携については、令和７年度において、具体的連携内容の協議を進める。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☐

チェック

a. 入学者選抜における科目の見直し
- ☐

チェック

b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック

c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☐

チェック

d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リススキングへの対応）
- ☐

チェック

e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学では、理系分野を目指す女子中高生を対象とした「ひょうこ理系女子未来塾」（女子中高生の理系進路選択支援プログラム選定事業）を実施し、近隣の中学校・高等学校での出前授業等を通じ、女子生徒が科学への興味・関心を高め、理系のキャリアを描けるよう支援している。今後もその活動を継続するし、女子中高生の理系分野選択を支援する。 また、現在、近畿圏をはじめとする7校の中学校・高等学校との教育研究連携に関する協定を締結しているが、フェーズ１期間中に連携先を10校に拡大予定。 出前授業の実施や生徒、学生及び教員の人材交流、教員間の相互FD、教育プログラムの共同開発、本学への進学について支援・連携する。 フェーズ３の新学部開設後はさらに連携を強化し、生徒の実験・実習授業への参加などを推進し、女子生徒の探究心を養う。学生のプロジェクトにおいても近隣の中学校・高等学校を対象としたものを実施する計画である。	令和６年度のMUKOJO未来の活動は次のとおり。 ・西宮市内の２中学校で２回の出前授業の実施 ・春のオープンキャンパスの実施（上甲子園キャンパス） ・地域イベント「第７回 武庫女スマイルフェス」に参加 ・連携先（提携校）の拡大については、3校追加し、合計16校となった。	

大学名	武庫川女子大学
-----	---------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2380	2375	2525																
		入学者数	人	2270	2364	2387																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	2,380	2,375	2,525																
		入学者数(B)	人	2,270	2,364	2,387																
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.95	1.00	0.95																
	収容定員等	収容定員(C)	人	9664	9864	10162																
		編入学定員	人	130	145	130																
		在籍者数(D)	人	9245	9864	9635																
		編入学者数	人	123	114	63																
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.96	1.00	0.95																

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			選定－5年	選定－4年	選定－3年	選定－2年	選定－1年	選定	開設												
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		137,628	139,734	150,512	145,270	169,760	181,653	150,676												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）（E）	千円	145,172
本事業による助成金の額(F)	千円	819,655
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	165,663

特記事項